

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,828	5.9	254	2.7	223	6.3	137	9.3
27年3月期第2四半期	2,671	0.2	247	△3.5	209	△0.9	125	11.2

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 154百万円 (△6.7%) 27年3月期第2四半期 165百万円 (26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.61	—
27年3月期第2四半期	13.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第2四半期	7,074		3,245		43.8	
27年3月期	7,043		3,138		42.6	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,097百万円 27年3月期 2,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,790	3.9	460	△20.6	390	△23.8	220	△28.3	23.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	10,000,000 株	27年3月期	10,000,000 株
28年3月期2Q	592,770 株	27年3月期	591,190 株
28年3月期2Q	9,407,733 株	27年3月期2Q	9,409,706 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府主導の経済政策等を背景として、企業収益や雇用環境が改善されるなど、緩やかな景気回復の動きが持続しました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速による影響が懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2015年度の経営スローガンを前年度に引き続き「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」とし、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、真の実力を持った企業グループとなるべく活動してまいりました。

また、2015年4月に各部門の役割・使命の明確化を更に進めるべく、組織変更を行い、顧客の要求する新商品開発の実現とそのスピードアップを図るため、社長直轄部門である社長室に商品戦略企画担当を配置すると共に、商品企画部の新設などを実施いたしました。

その結果、売上高は前年同期比5.9%増の28億2千8百万円（前年同期26億7千1百万円）となりました。利益面では、人件費や商品開発費用の増加はありましたものの、増収や経費管理の徹底効果により、営業利益で同2.7%増の2億5千4百万円（同2億4千7百万円）、経常利益で同6.3%増の2億2千3百万円（同2億9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同9.3%増の1億3千7百万円（同1億2千5百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、前期において拡販施策により売上が伸長した電設工具がその一巡により減少しましたものの、レンチ・万力類の増加や新商品の投入、新企画の工具セットが好評を得たことにより増加しました。ファスニング部門では、エアリーバッター・コードレスリバッターの順調な販売に加え、工業用ファスナーも回復を見せましたが、切削工具部門については利益確保のために拡販施策を縮小したことにより減少しました。海外売上についても前年同期に比べ増加し、東南アジア向けのファスニングツールの減少はありましたが、ハンドツール部門では、韓国向けの圧着工具を中心とした拡販施策が奏功し、台湾向けにもプライヤ類が伸長しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比6.3%増の27億1千4百万円（前年同期25億5千4百万円）となり、営業利益は同4.8%増の2億1百万円（同1億9千2百万円）となりました。

②レジャーその他事業

ゴルフ練習場への入場者数は、入場者増加施策の効果が一部に見られましたものの、全体としては前年同期に対して減少し、お客様一人当たり売上高の低下傾向も継続しており、売上高は前年同期比2.4%減の1億1千4百万円（前年同期1億1千7百万円）となり、営業利益は同4.7%減の5千2百万円（同5千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は70億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千万円増加しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比6千9百万円増の43億9千9百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金やたな卸資産が減少する一方で、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は同3千9百万円減の26億7千4百万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比4千6百万円減の24億9千5百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加がありましたものの、短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同2千9百万円減の13億3千3百万円となりました。これは長期借入金及びリース債務の減少によるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比し1億6百万円増加し、32億4千5百万円となりました。これは主に配当支出による減少がありましたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億8千7百万円増加(前年同期6千8百万円増加)し、13億7千3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

法人税等の支払や仕入債務の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上に加え、売上債権やたな卸資産の減少により、資金が3億7千8百万円増加(前年同期3千1百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得を主因に、資金が3千4百万円減少(前年同期3千万円減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金およびリース債務の返済、ならびに配当金支払により資金が1億5千4百万円減少(前年同期6千6百万円増加)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績予想の修正につきましては、平成27年11月5日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,513,441	1,700,508
受取手形及び売掛金	1,312,419	1,218,758
商品及び製品	953,735	920,994
仕掛品	224,031	231,184
原材料及び貯蔵品	171,642	173,877
その他	160,321	159,644
貸倒引当金	△5,584	△4,972
流動資産合計	4,330,007	4,399,994
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	816,641	797,186
土地	738,508	738,508
その他(純額)	569,696	547,243
有形固定資産合計	2,124,845	2,082,938
無形固定資産	44,959	39,227
投資その他の資産	543,411	552,010
固定資産合計	2,713,216	2,674,176
資産合計	7,043,223	7,074,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,612	251,749
短期借入金	1,806,485	1,748,352
未払法人税等	40,833	65,599
その他	395,834	430,294
流動負債合計	2,542,764	2,495,995
固定負債		
長期借入金	1,099,999	1,079,595
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
退職給付に係る負債	42,031	44,436
その他	217,090	205,980
固定負債合計	1,362,241	1,333,131
負債合計	3,905,006	3,829,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,556,216	1,646,602
自己株式	△149,074	△149,411
株主資本合計	2,858,188	2,948,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,726	148,905
その他の包括利益累計額合計	141,726	148,905
非支配株主持分	138,303	147,901
純資産合計	3,138,217	3,245,043
負債純資産合計	7,043,223	7,074,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,671,482	2,828,376
売上原価	1,706,217	1,842,314
売上総利益	965,265	986,061
販売費及び一般管理費	717,919	731,985
営業利益	247,345	254,076
営業外収益		
受取利息	113	110
受取配当金	3,057	4,216
受取家賃	4,049	4,715
その他	3,436	3,951
営業外収益合計	10,656	12,993
営業外費用		
支払利息	24,767	19,280
売上割引	22,268	22,351
その他	1,067	2,350
営業外費用合計	48,103	43,983
経常利益	209,898	223,087
特別損失		
固定資産除却損	39	466
特別損失合計	39	466
税金等調整前四半期純利益	209,859	222,620
法人税等	78,431	76,336
四半期純利益	131,428	146,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,698	8,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,730	137,429

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	131,428	146,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,881	7,922
その他の包括利益合計	33,881	7,922
四半期包括利益	165,309	154,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,869	144,608
非支配株主に係る四半期包括利益	6,440	9,598

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	209,859	222,620
減価償却費	93,631	104,809
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△732	△741
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,843	2,404
受取利息及び受取配当金	△3,171	△4,326
支払利息	24,767	19,280
為替差損益(△は益)	△460	1,735
固定資産除却損	39	466
売上債権の増減額(△は増加)	31,186	93,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136,082	23,353
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,693	3,469
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,622	△47,862
その他の負債の増減額(△は減少)	1,193	17,383
小計	183,758	436,253
利息及び配当金の受取額	3,720	4,326
利息の支払額	△25,444	△20,975
法人税等の支払額	△132,833	△40,968
法人税等の還付額	2,628	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,828	378,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△28,602	△31,715
無形固定資産の取得による支出	△440	△584
投資有価証券の取得による支出	△1,922	△2,459
その他	486	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,479	△34,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	101,000	△64,998
長期借入れによる収入	620,000	220,000
長期借入金の返済による支出	△579,001	△233,539
リース債務の返済による支出	△28,283	△29,069
自己株式の取得による支出	△207	△337
配当金の支払額	△47,051	△47,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	66,457	△154,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	460	△1,735
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,266	187,066
現金及び現金同等物の期首残高	1,192,345	1,186,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,260,612	1,373,907

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,554,331	117,151	2,671,482	—	2,671,482	2,671,482
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,554,331	117,151	2,671,482	—	2,671,482	2,671,482
セグメント利益	192,425	54,920	247,345	—	247,345	247,345

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,714,007	114,369	2,828,376	—	2,828,376	2,828,376
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,714,007	114,369	2,828,376	—	2,828,376	2,828,376
セグメント利益	201,756	52,320	254,076	—	254,076	254,076

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。